

## 競争入札設計図書等に関する回答書

令和7年6月13日

(工事執行権者)  
福島県福島空港事務所長

工事番号	25-41410-0009
工事名	空港維持補修工事（駐車場照明）
質問事項	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 代価表 0013 アスファルト舗装カッター時に汚泥が発生しますが産業廃棄物処理は見積もらなくてよろしいでしょうか、ご教示願います。</li><li>・ 代価表 0014 アスファルト舗装解体（集積共）は SPD311 コード内の『低騒音・低振動対策』の『不要・必要』はどちらを採用されていますか、ご教示願います。</li><li>・ 代価表 0015 構造物基礎解体（集積共）は S7307 コード内の『低騒音・低振動対策』の『不要・必要』はどちらを採用されていますか、ご教示願います。</li><li>・ 代価表 0016 アスファルト舗装の SPD005 コード内の重機がモーターグレーダー、ロードローラ、タイヤローラの使用となっていますが、SPD006 コードで設計変更可能でしょうか、ご教示願います。</li><li>・ 代価表 0016 アスファルト舗装の SPD009 コード内の重機がモーターグレーダー、ロードローラ、タイヤローラの使用となっていますが、SPD010 コードで設計変更可能でしょうか、ご教示願います。</li><li>・ 代価表 0016 アスファルト舗装の SPD023 コード内の条件で舗装幅員、合材（密粒度）の種類、乳剤の有無及び種類をご教示願います。</li><li>・ 代価表 0017 白線引きの S7301 コード内の規格は実線 15cm、塗装厚 1.5 mm でそれぞれよろしいでしょうか、ご教示願います。</li><li>・ 代価表 0018 歩車道境界ブロック取外し、再設置の SPD241 コード内の条件で基礎碎石 - 再生クッション RC-40、均し基礎コンクリートは無でよろしいでしょうか、ご教示願います。</li><li>・ 代価表 0044 の VS7002 コード内の条件の作業区分は直線配置・ブロック厚 6cm でよろしいでしょうか、また施工規模をご教示願います。</li><li>・ 代価表 0044 のインターロッキングブロックの単価は 0 円でよろしいでしょうか、ご教示願います。</li><li>・ 代価表 0044 のインターロッキングブロック 撤去工のまた施工規模をご教示願います。ご教示願います。</li><li>・ 上記項目の単位単価の有効桁数または、少数第○位等の端数処理、及び切り上げ、切り捨て、四捨五入をご教示願います。</li></ul>	

## 回 答 事 項

- 本工事の発注種別は電気設備工事であることから、代価表 0013 アスファルト舗装カッター時に発生する汚泥の産業廃棄物処理について見積もりの必要はありません(福島県技術管理課 HP :「舗装の切断作業時に発生する排水の具体的処理に関する留意事項」を参照)。
- 「kinnuki003」の頁 0-0006 のとおり、代価表 0014 アスファルト舗装解体(集積共)(SPD311)の低騒音・低振動対策は必要です。
- 「kinnuki003」の頁 0-0005 のとおり、代価表 0015 構造物基礎解体(集積共)(S7307)の低騒音・低振動対策は必要です。
- 代価表 0016 アスファルト舗装の下層路盤の施工の際、SPD005 コード内の重機(モーターグレーダー、ロードローラ、タイヤローラ)が使用できないことが判明した場合は、変更設計の協議対象とします。
- 代価表 0016 アスファルト舗装の上層路盤の施工の際、SPD009 コード内の重機(モーターグレーダー、ロードローラ、タイヤローラ)が使用できないことが判明した場合は、変更設計の協議対象とします。
- 「kinnuki003」の頁 0-0012 のとおり、代価表 0016 アスファルト舗装の SPD023 コード内の条件は以下のとおりです。
  - 舗装幅員 : 1.4m 未満
  - 合材(密粒度)の種類 : 再生密粒度(20F)
  - 乳剤の有無及び種類 : 有(プライムコート)
- 「kinnuki003」の頁 0-0014 のとおり、代価表 0017 白線引きの S7301 コード内の規格は実線 15cm、塗装厚 1.5mm でよろしいです。
- 「kinnuki003」の頁 0-0017 のとおり、代価表 0018 歩車道境界ブロック取外し、再設置の SPD241 コード内の条件は、基礎砕石 - 再生クレスラン RC-40、均し基礎コンクリートは無でよろしいです。
- 「kinnuki003」の頁 0-0020 のとおり、代価表 0044 の VS7002 コード内の条件の作業区分は直線配置・ブロック厚 6cm でよろしいです。また施工規模は 100 m<sup>2</sup>未満です。
- 代価表 0044 は取外した既存のインターロッキングブロックを再利用し設置することから、材料費が含まれているインターロッキングブロック設置工(VS7002)の単価から、材料単価を差し引くため、インターロッキングブロック材料の単価をマイナスで計上しております。
- 「kinnuki003」の頁 0-0020 のとおり、代価表 0044 のインターロッキングブロック 撤去工(S7003)の施工規模は 100 m<sup>2</sup>未満です。
- 「kinnuki002」の代価表の単位単価の有効桁数、端数処理については、福島県建築関係工事積算基準に基づき行っております。また、各代価表内で使用する福島県事業単価コード(「kinnuki003」)については、福島県土木工事標準積算基準に基づき行っております。